

令和7年度事業報告

法人本部拠点区分

【1】法人運営方針

理事会で承認されました、令和7年度法人事業計画の法人運営方針に基づき報告する。

I. 財務規律強化

(1) 法人運営方針要約

「社会福祉法人の社会的存在意義」を、経営不採算の正当化理由とせず、健全な財務基盤に基づく真の社会貢献を目指す。経営者層が財務状況を直視し、事業縮小や撤退をタブー視しない抜本的な構造改革に取り組む。

(2) 事業再編の断行と継続監視

上記方針に基づき、赤字事業であった「波除学園分園なみびよ」の閉園を決定・実施した。同じく赤字事業である「小規模多機能ホーム淳風ふたば」および「アフタースクールKIDS なみよけ」については、今年度の撤退には至らなかったものの、毎月の財務状況を注視し、継続的な経営判断を行っている。

(3) 組織的な管理体制の構築（今後の課題）

財務課による月次決算の分析および報告は定着したものの、現状では数値の報告に留まる「形骸化」が課題となっている。報告を受けた経営層がその数値を具体的な経営改善に活かしておらず、厳しい収支状況が続く事業への対応において、判断の遅れや実効性の不足が見受けられる。

今後は、個人の意識やスキルに依存せず、「組織・仕組み」として財務の異変を早期に察知し、迅速に対処できる体制への移行を急務とする。具体的には、会計顧問とも連携し、客観的な数値指標に基づく管理手法の導入や、経営会議における議論の質の向上を検討していく。

II. 人財投資強化

(1) 法人運営方針要約

財務基盤の強化と並行して、人財への投資配分を大幅に拡大する。特に処遇面では、実感の薄い福利厚生から「月額給与のベースアップ」等、職員が直接メリットを実感できる体制へのシフトを推進する。

(2) 給与体系の抜本的見直し

上記方針に基づき、職員が法人の成長を実感できる体制づくりのため、給与体系の刷新に着手した。

- ・法人本部：令和8年度の新給与体系移行に向け、今年度中に制度設計および準備を完了した。
- ・高齢者支援事業部：令和9年度の移行を目標に、今年度より現状分析と新体系の検討を開始した。

- ・子育て支援事業部：現在、一時金（人事院勧告分等）として支給している項目整理し、令和8年度中に基本給のベースアップ等へ移行することを目指し、今年度より具体的な検討を開始した。

（3）人財確保・育成の継続課題

人財確保および育成面への予算投入については、給与体系見直しを優先したこともあり、今年度は大規模な投資に至るまでの十分な成果を挙げるには至らなかった。次年度は、再編された給与体系を軸としつつ、さらなる重点投資と職場環境の整備を継続して推進していく。

【2】法人本部運営方針

理事会で承認されました、令和7年度法人事業計画の法人本部運営方針に基づき報告する。

I. 法人本部の持続可能な体制の構築

（1）次代に向けた組織体制の整備

① 働きやすい環境づくり

働きやすい環境をつくるため、システムをより活用できないかという観点で業務の標準化・効率化の取組みを進めた。

その指標として、有給休暇の取得促進（有休取得率62%、目標値：63%（令和6年50.1%））、定時退社の促進（法定外残業時間59時間（目標値：本部全体で年間120時間（令和6年118時間））という結果となった。有休取得率は数値目標を達成できなかったが、残業時間は半減し、一定の効果はあったと考えられる。

② 業務の標準化

業務の標準化、効率化のため、会計・給与計算ソフトと同じシステム会社の法定調書と人事管理のソフトを導入した。また、事務処理の観点から規程を見直し、本理事会で経理規程、通勤手当・車両に関する規則の改正案を作成した。

細かな部分での業務の標準化を進めたものの、不十分な点も多々あり、これらを強力に進めていくことが令和8年度の事務局への課題となる。

③ 法人本部の役割の明確化

法人本部と両事業部の役割の整理、分担を検討する中で、令和8年度から事務局の設置という組織体制の変更につながった。

（2）職員の専門性の強化、スキルアップ

今年度より法人の職員としての基礎知識を学ぶ目的で法人本部全体研修を行った。また、専門的な研修については各自取組んでおり、専門資格を受験、取得した職員もいた。

令和8年度より課の役職を担える程、2名の職員が成長した例が示す通り、専門性の強化の取組みに一定の効果があったと考えられる。

II. 各担当課の取り組み

（1）財務課：財務規律の強化の支援

会計ソフトの拠点への展開（小口現金入力を拠点で行う等）やスキャナ保存を含めた、国税重要書類（請求書、領収証等）の電子帳簿保存を一部の拠点で始める等、財務状況の把握に向け、デジタル化を進めることができた。

また財務資料については拠点間比較ができる新たな様式を作成した。

一方で、月次決算スピードを改善する程の効果はなく、上記の取組みを進める中で、情報をまとめるまでには至らなかった。この点は次年度以降の課題である。

(2) 総務人事課：人財投資強化

人財確保施策について、法人全体での取組みを進めることができた。採用担当者と両事業部が定期的に会議を行い、新卒採用は令和8年度（令和9年3月卒業の新卒採用）から法人全体共通の枠組みでできるよう、計画立案した。また、採用パンフレットを両事業部と協働で作成した。

法人本部としての規程がなかった処遇関連の規程（給与規程、人事・等級評価規程）を新たに策定し、令和8年度から事務局職員に適用・運用を開始した。

【3】その他

I. 理事会及び評議員会の開催実績

(1) 理事会

①令和7年5月23日 令和7年度第1回理事会

(報告事項)

第一号報告 令和6年度監事監査結果報告の件

第二号報告 代表理事(理事長)及び業務執行理事の職務執行状況報告の件

(審議事項)

第一号議案 令和6年度事業報告の件

第二号議案 令和6年度決算報告の件

第三号議案 定時評議員会に提案する次期役員（理事・監事）候補者の件

第四号議案 評議員選任解任委員会に提案する次期評議員候補者の件

第五号議案 次期評議員選任解任委員選出の件

第六号議案 定款一部変更（基本財産増）の件

第七号議案 定時評議員会招集の件

第八号議案 経理規程一部変更の件

第九号議案 淳風おおさか外壁工事の件

②決議の省略（令和7年6月18日成立）令和7年度第2回理事会

(審議事項)

第一号議案 代表理事（理事長）選任の件

第二号議案 業務執行理事選任の件

第三号議案 評議員選任解任委員会運営細則一部変更の件

第四号議案 令和7年度介護福祉士修学資金貸付事業法人保証の件

③令和7年8月22日 令和7年度第3回理事会

(前回からの懸案事項)

淳風おおさか外壁工事業者決定報告の件

(報告事項)

第一号報告 令和7年度第1四半期事業報告の件

第二号報告 令和7年度第1四半期財務報告の件

第三号報告 代表理事（理事長）及び業務執行理事の職務執行状況報告の件
（審議事項）

第一号議案 住宅改修事業開始の件

第二号議案 定款一部変更の件

第三号議案 評議員会招集の件

第四号議案 経理規程一部変更の件

第五号議案 ハラスメントの防止に関する規程一部変更の件

第六号議案 育児介護休業規程一部変更の件

第七号議案 給与規程（子育て支援事業部）一部変更の件

④決議の省略（令和7年11月19日成立）令和7年度第4回理事会

（報告事項）

第一号報告 令和7年度第2四半期事業報告の件

第二号報告 令和7年度第2四半期財務報告の件

第三号報告 代表理事（理事長）及び業務執行理事の職務執行状況報告の件

（審議事項）

なし

⑤令和8年2月20日 令和7年度第5回理事会

（報告事項）

第一号報告 令和8年度理事会・評議員会開催日程の件

第二号報告 令和7年度第3四半期事業報告の件

第三号報告 令和7年度第3四半期財務報告の件

第四号報告 代表理事（理事長）及び業務執行理事の職務執行状況報告の件

（審議事項）

第一号議案 就業規則一部変更の件

第二号議案 通勤手当・車両に関する規則一部変更の件

第三号議案 給与規程一部変更（居宅介護支援事業所 インセンティブ支給に関する
特則の追加付則創設）の件

第四号議案 給与規程（法人本部）及び人事・等級評価規程（法人本部）創設の件

第五号議案 人事の件

⑥令和8年3月19日 令和7年度第6回理事会

（審議事項）

第一号議案 業務執行理事退任の件

第二号議案 令和7年度第1回補正予算案の件

第三号議案 令和8年度事業計画案の件

第四号議案 令和8年度予算案の件

第五号議案 役員等職務権限規程一部変更の件

- 第六号議案 役員等報酬規程一部変更の件
第七号議案 給与規程一部変更の件
第八号議案 経理規程及び経理規程細則一部変更の件
第九号議案 令和8年度介護福祉士修学資金貸付事業法人保証の件

(2) 評議員会

①令和7年6月13日 令和7年度第1回評議員会（定時評議員会）

目的事項

（報告事項） 令和6年度事業報告の件他

第一号報告 令和6年度監事監査結果報告について

第二号報告 令和6年度事業報告について

（決議事項） 議題 決算承認の件他

第一号議案 令和6年度決算承認（計算書類・財産目録の承認）について

第二号議案 理事9名選任について

第三号議案 監事2名選任について

第四号議案 定款一部変更（基本財産増）について

②決議の省略（令和7年9月5日成立）令和7年度第2回評議員会

目的事項

（決議事項） 議題 定款変更の件

第一号議案 定款一部変更について

II. 登記事項

資産の総額の登記 金 39 億 0584 万 4426 円 令和8年3月31日変更

III. その他重要な契約(100万円以上のものを抜粋)

令和7年5月20日 淳風とよなかⅠ

特定技能実習生支援委託費

株式会社松下デンソー（1,391,500円:5年分）

令和7年6月10日 淳風とよなかⅠ・淳風とよなかⅡ

特定技能実習生支援委託費

ST Agency 株式会社（1,650,000円:5年分）

令和7年8月28日 法人本部

Bill One システム料

Sansan 株式会社（1,760,000円/年）

令和7年9月18日 淳風なみよけ・波除学園・病児病後児保育ぴ〜よんルーム・

アフタースクール KIDS なみよけ・アフタースクール KIDS かわぐち
給食委託料

株式会社南テストィバル（2,182,268円/月 88,664円値上げ/月）

令和7年9月29日 法人本部

PCA クラウド社会福祉法人会計

PCA クラウド給与
PCA クラウド固定資産
PCA クラウド法定調書
PCA クラウド人事管理
上記 10 アカウントシステム料
キャノンシステムアンドサポート株式会社 (1, 113, 090 円/年)

令和 7 年 10 月 20 日 西保育園
屋上・屋上運動スペース防水工事
中岡興業 (2, 260, 200 円)

令和 7 年 10 月 21 日 法人本部
法人リクルートパンフレット作製
株式会社ホルム (1, 034, 000 円)

令和 7 年 10 月 22 日 淳風とよなか
福祉用具介護ソフト導入
パラマウントケアサービス株式会社 (1, 540, 000 円)

令和 8 年 1 月 23 日 淳風なみよけ
消防設備不具合箇所修繕作業
株式会社丸仙設備 (1, 210, 000 円)

令和 8 年 2 月 4 日 グリーンヒル淳風
ビル設備に係る施設管理業務 (令和 8 年 3 月～令和 9 年 2 月)
生和アメニティ株式会社 (1, 839, 600 円)

令和 8 年 3 月 7 日 淳風なみよけ
施設管理業務 (令和 8 年 4 月～令和 11 年 3 月)
ダイキンエアテクノ株式会社 (4, 519, 800 円/年換算 1, 506, 600 円)

令和7年度給与・賞与支給額

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

単位:円

拠点名		人数	総支給額 (総額)	差引支給額 (総額)	総支給額 (平均)	差引支給額 (平均)
法人本部	正職員	9	52,150,136	40,398,783	5,794,460	4,488,754
	契約職員	4	11,766,331	8,988,820	2,941,583	2,247,205
グリーンヒル 淳風	正職員	19	87,839,123	69,253,994	4,623,112	3,644,947
	契約職員	46	49,106,796	44,319,663	1,067,539	963,471
淳風とよなか	正職員	56	223,370,349	175,439,029	3,988,756	3,132,840
	契約職員	44	63,629,052	52,685,341	1,446,115	1,197,394
淳風とよなかⅡ	正職員	53	214,314,631	167,548,283	4,043,672	3,161,288
	契約職員	55	69,122,545	59,641,418	1,256,774	1,084,389
淳風おおさか	正職員	68	266,473,844	209,802,419	3,918,733	3,085,330
	契約職員	51	71,959,957	62,996,563	1,410,980	1,235,227
淳風なみよけ	正職員	20	81,184,243	62,978,868	4,059,212	3,148,943
	契約職員	42	59,185,694	49,691,285	1,409,183	1,183,126
波除学園	正職員	29	134,580,274	103,478,720	4,640,699	3,568,232
	契約職員	18	39,558,328	31,901,287	2,197,685	1,772,294
安治川保育園	正職員	23	115,594,444	90,925,680	5,025,845	3,953,290
	契約職員	20	36,770,636	30,761,589	1,838,532	1,538,079
田中保育所	正職員	10	52,874,988	40,561,933	5,287,499	4,056,193
	契約職員	14	33,225,393	27,526,156	2,373,242	1,966,154
西保育園	正職員	11	55,821,350	42,970,586	5,074,668	3,906,417
	契約職員	18	32,378,613	27,795,493	1,798,812	1,544,194
子育て支援	正職員	0	0	0		
	契約職員	38	55,981,277	48,394,586	1,473,192	1,273,542
法人全体	正職員	298	1,284,203,382	1,003,358,295	4,309,407	3,366,974
	契約職員	350	522,684,622	444,702,201	1,493,385	1,270,578

年度途中の入退職者も人数に含む(1人としてカウント)。上記により平均を算出しているため、
実態より低い金額となる。

正職員には嘱託職員も含む。契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む。
「子育て支援」認定こども園・保育園(所)以外の子育て支援事業部の事業所

令和7年度退職率

		R7.4.1 在籍人数	R8.4.1 在籍人数	R7年度 退職人数	退職率
法人本部	正職員	9	9	0	0.0%
	契約職員	3	2	1	33.3%
グリーンヒル 淳風	正職員	20	18	2	10.0%
	契約職員	41	36	5	12.2%
淳風とよなか	正職員	49	42	7	14.3%
	契約職員	38	37	1	2.6%
淳風とよなかⅡ	正職員	52	46	6	11.5%
	契約職員	38	35	3	7.9%
淳風おおさか	正職員	64	53	11	17.2%
	契約職員	34	28	6	17.6%
淳風なみよけ	正職員	10	10	0	0.0%
	契約職員	44	38	6	13.6%
波除学園	正職員	24	19	5	20.8%
	契約職員	17	15	2	11.8%
安治川保育園	正職員	22	21	1	4.5%
	契約職員	16	15	1	6.3%
田中保育所	正職員	12	10	2	16.7%
	契約職員	14	10	4	28.6%
西保育園	正職員	11	11	0	0.0%
	契約職員	15	14	1	6.7%
子育て支援	正職員	1	1	0	0.0%
	契約職員	32	24	8	25.0%
法人全体	正職員	274	240	34	12.4%
	契約職員	292	254	38	13.0%

退職率は「1年前に在籍している、かつ令和7年度中の退職者」を「1年前の在籍者」で除した割合。

正職員には嘱託職員も含む。

契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む。

(公財)介護労働安定センター令和6年度「介護労働実態調査」：離職率12.4%

職員状況

令和8年4月1日現在

10代			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			合計		
人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	人数	割合	勤続 年数	平均 年齢		
人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	歳		
男性																										
正職員	0	0%-	8	1%	2.9	21	4%	5.1	36	6%	10.9	31	5%	10.6	0	0%-	0	0%-	0	0%-	96	17%	8.9	43.8		
嘱託職員	0	0%-	0	0%-		0	0%-		0	0%-		0	0%-		3	1%	14.3	1	0%	12	4	1%	13.8	66.5		
契約職員	0	0%-	11	2%	1.8	3	1%	3.7	4	1%	3	8	1%	7.9	14	2%	3.6	13	2%	8.6	53	9%	5.1	54.6		
計	0	0%-	19	3%	2.3	24	4%	5	40	7%	10.1	39	7%	10	17	3%	5.5	14	2%	8.9	153	27%	7.7	48.2		
女性																										
正職員	0	0%-	34	6%	3.1	32	6%	6.9	33	6%	11.2	49	9%	12.5	0	0%-		0	0%-		148	26%	8.8	41.4		
嘱託職員	0	0%-	0	0%-		0	0%-		0	0%-		0	0%-		11	2%	11.5	1	0%	16	12	2%	11.8	62.8		
契約職員	1	0%	0	3%	1.2	25	4%	6.1	34	6%	5.9	65	12%	7.4	66	12%	6.7	42	7%	10.3	3	1%	22.3	7.1	55.8	
計	1	0%	49	9%	2.5	57	10%	6.5	67	12%	8.5	114	20%	9.6	77	14%	7.4	43	8%	10.4	3	1%	22.3	7.9	50.8	
合計																										
正職員	0	0%-	42	7%	3	53	9%	6.2	69	12%	11	80	14%	11.8	0	0%-		0	0%-		244	43%	8.9	42.4		
嘱託職員	0	0%-	0	0%-		0	0%-		0	0%-		0	0%-		14	2%	12.1	2	0%	14	16	3%	12.3	63.8		
契約職員	1	0%	0	5%	1.5	28	5%	5.8	38	7%	5.6	73	13%	7.5	80	14%	6.2	55	10%	9.9	3	1%	22.3	6.8	55.6	
計	1	0%	68	12%	2.4	81	14%	6.1	107	19%	9.1	153	27%	9.7	94	17%	7	57	10%	10.1	3	1%	22.3	7.8	50.1	

※契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む

令和7年度有休消化日数

拠点名	有休日数 (日)	延人数 (人)	平均取得日数 (日)	拠点名	有休日数 (日)	延人数 (人)	平均取得日数 (日)
法人本部	122.8	137	10.8	波除学園	610	507	14.4
グリーンヒル淳風	595.1	732	9.8	安治川保育園	593.1	481	14.8
淳風とよなか	810.6	1064	9.1	田中保育所	429.8	291	17.7
淳風とよなかII	1030.9	1160	10.7	西保育園	376.6	318	14.2
淳風おおさか	1077.3	1233	10.5	子育て支援	382.2	416	11
淳風なみよけ	723.8	679	12.8				
				法人全体	6752.2	7018	11.5

集計期間：R7年4月1日～R8年3月31日

有休日数には時間有休を含む

〇正次有給休暇の年間平均取得日数の計算式

年間平均取得日数＝ $\frac{\text{過去期間中の毎月の有休取得日数の合計}}{\text{算定期間中の毎月の対象労働者の合計}} \times 12$

「子育て支援」認定こども園・保育園(所)以外の子育て支援事業部の事業所

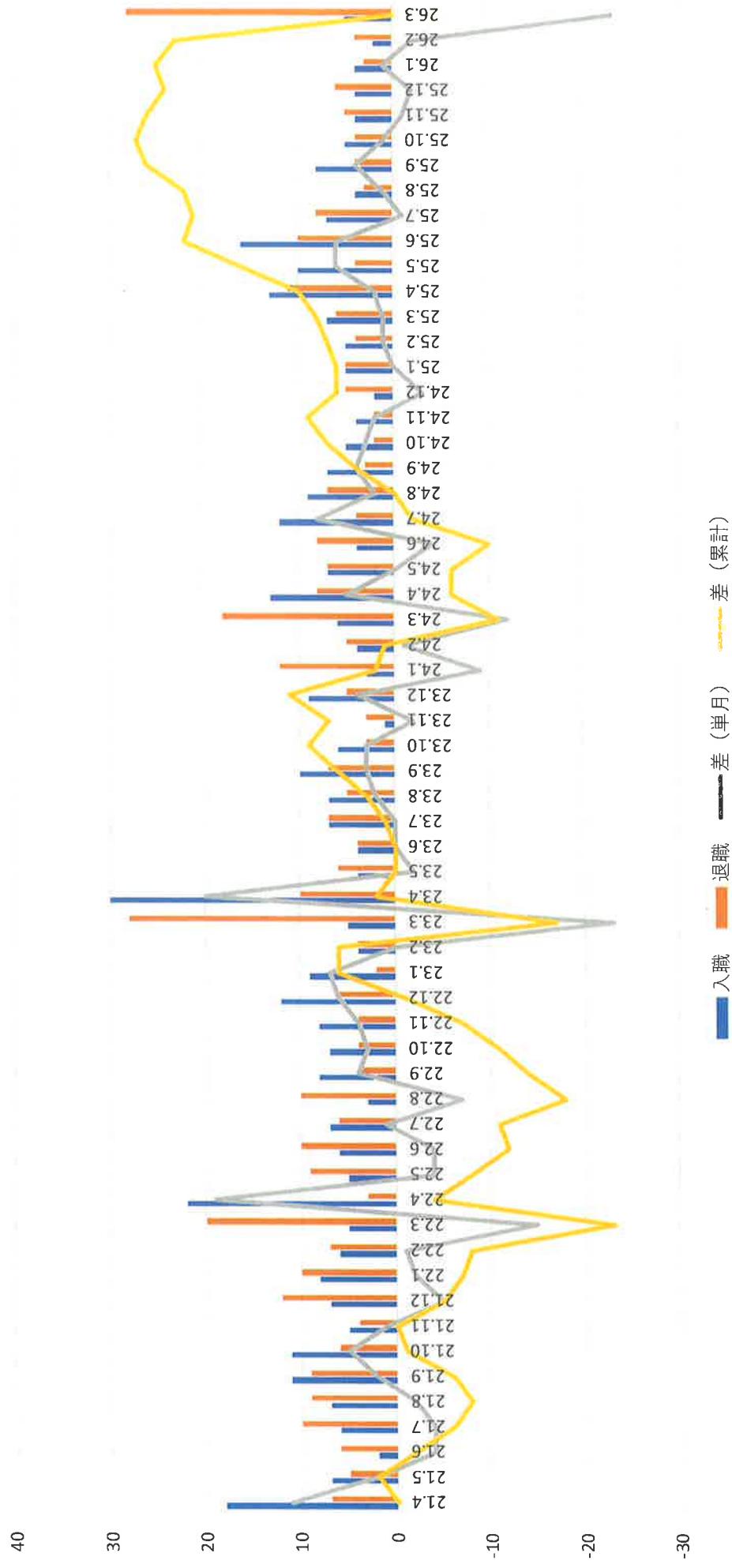
(公財)介護労働安定センター

令和6年度「介護労働実態調査」

有休平均取得(消化日数)：7.8日

高齢・子育て 合計

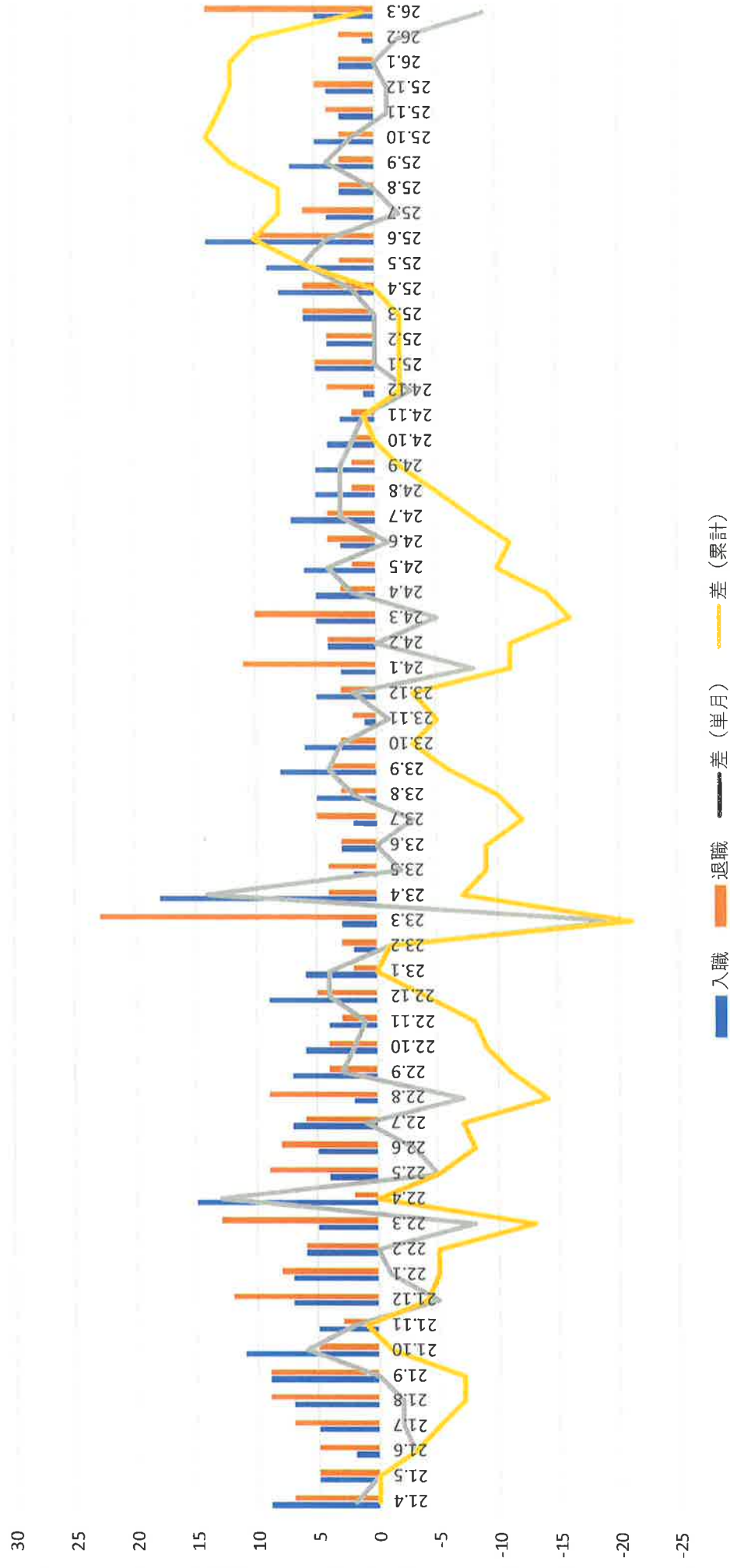
退職者数と採用実績の推移（合計）



※21年4月を基準に累計を出しています。

高 齢

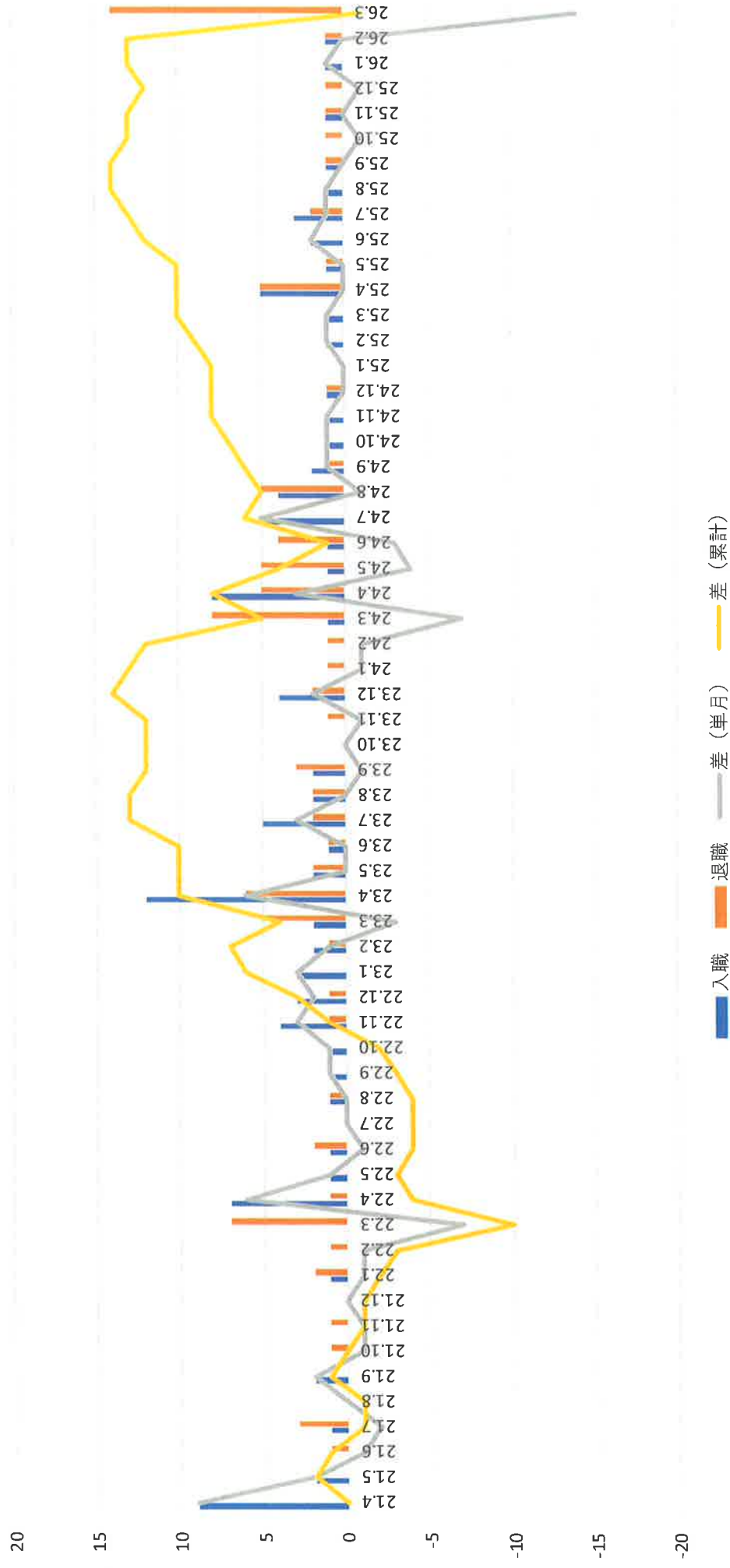
退職者数と採用実績の推移（合計）



※21年4月を基準に累計を出しています。

子育て

退職者数と採用実績の推移（合計）



※21年4月を基準に累計を出しています。

令和7年度 事業部別入退職者報告

(人)

1.入職者一覧 (正職員・契約職員)

拠点	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度累計		(前年度累計)			
	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契		
高齢者	2	6	8	3	6	9	3	11	14	4	4	3	3	2	5	3	3	4	3	3	3	1	1	4	5	16	50	66	16.38%	
	2	1	3	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	8	12	7.23%		
法人全体	4	7	11	3	7	10	3	13	16	1	5	6	0	4	1	7	8	3	2	5	0	3	3	0	4	4	20	58	78	13.71%
	10	3	13	1	6	7	2	2	4	0	12	12	3	6	9	1	6	7	1	4	5	2	2	4	1	1	27	53	80	14.11%

前年度：法人全体

2.退職者一覧 (正職員・契約職員)

拠点	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度累計		(前年度累計)								
	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契							
高齢 子育て	2	4	6	2	1	3	7	3	10	2	4	6	1	2	3	3	1	4	2	3	5	2	1	3	1	2	3	6	8	14	30	33	63	15.63%	
	2	3	5	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	11	14	8	19	26	15.29%	
法人全体	4	7	11	3	1	4	7	3	10	3	5	8	1	2	3	4	3	2	5	2	4	6	2	1	3	1	3	4	9	19	28	38	52	90	15.82%
	3	5	8	4	3	7	4	4	8	0	4	4	2	5	7	1	2	1	2	1	4	5	1	4	5	4	1	5	1	12	13	22	47	69	12.17%
(単位：人・年)																																			

3.休職者人数(産休・育休・介護休業・労働災害・私療病他) (正職員・契約職員)

拠点	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度累計		(前年度累計)												
	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契	正	契											
高齢	4	4	8	4	2	6	4	2	6	3	1	2	3	1	4	5	1	4	5	1	2	3	2	5	2	3	5	30	31	61	39	48	87						
	2	1	3	3	1	4	3	2	1	3	3	1	4	4	1	5	4	4	4	4	4	5	6	6	4	4	5	6	44	19	26	45	45						
子育て	6	5	11	7	3	10	7	5	12	6	3	9	6	1	7	5	3	8	5	4	9	5	2	7	6	3	9	8	2	10	8	3	11	74	38	112	58	74	132
法人全体	5	4	9	4	5	9	4	6	10	6	9	15	6	9	15	6	7	13	4	5	9	4	8	4	3	7	5	6	11	58	74	132	132	132	132				
(前年度：法人全体)																																							

4.派遣人数

(人)

拠点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度
高年齢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
子育て	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
法人全体	2	3	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	25
(前年度：法人全体)	8	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	47

令和7年度 事業報告

グリーンヒル淳風拠点区分

- ・ ケアハウスグリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービスグリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービス（障害福祉）グリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービス（移動支援）グリーンヒル淳風
- ・ 居宅介護支援事業所グリーンヒル淳風
- ・ グリーンヒル淳風デイサービスセンター
- ・ 寝屋川市第六中学校区地域包括支援センター
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業グリーンヒル淳風
- ・ 相談支援事業グリーンヒル淳風

理事会で承認されました、令和7年度の事業計画において下記4点を全体目標として各事業運営いたしましたので報告申し上げます。

I、令和7年度グリーンヒル淳風の全体目標

1、拠点一体型の考え方の浸透と事業所連携の強化

- ・ ケアハウスを中核としたケアマネジャー・訪問介護・通所介護間の連携意識は着実に浸透。拠点内全体委員会の定例開催を通じ、各事業所の水平的ネットワークの強化を実現した。連携が深化する一方で、各部署の職責や専門領域に関する認識の相違から、業務上の食い違いや不整合が生じるケースが生じている。今後は、各部署の標準業務フローの共有を再徹底し、役割定義の明確化を図ることで、組織間コミュニケーションの最適化と円滑な協働体制を再構築する。

2、地域貢献を念頭に置いた活動の構築

- ・ 令和7年度より開始した「オレンジカフェじゅんぷう」は、一定の定着をみたものの、新規参加者の獲得や層の拡大において停滞局面にある。地域貢献委員会を軸に、市社会福祉協議会との共同分析を実施。プログラムの有効性および広報戦略の再評価を行っている。利用者フィードバックにより「開催場所」に関する課題が顕在化している。現在、アクセスの最適化や利便性向上を主眼に置いた、拠点の選定を含む抜本的な運営モデルの見直しを検討中である。

3、次世代を見据えた人材確保と育成

- ・ 次世代を見据えた人材確保の課題は継続して取組んでいるが、通所介護の生活相談員及び訪問介護の常勤ヘルパーが相次いで退職となり、人員補充が喫緊の課題となっており、世代を見据えた新しい人員確保の取組が行えず、現状の事業所運営のための人員確保に注力せざる得ない状態が続いた。
- ・ 今後、次世代の後進育成のため、世代が変わっても対応できるよう、業務体系化のためのマニュアル作りを進めていく。

Ⅱ、各事業の報告

1. ケアハウス

	第 1 四半期		第 2 四半期		第 3 四半期		第 4 四半期	
(月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	98%	96.7%	98%	92.0%	98%	94.7%	98%	94.7%
入居者数	49 名	48.3 名	49 名	46.0 名	49 名	47.3 名	49 名	47.3 名
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	98%		99.5%		96%		97.7%	

- ・今年度の新入居者数：11 名、退居者数：15 名。
- ・今年度の月末入居者総数は 567 名となり前年度対比 99.5%（前年度 571 名）、月平均入居者数も 47.3 名（前年度 47.9 名）となり、目標としていたご入居者平均も 49.0 名には至らなかった。
- ・主な要因としては、グリーンヒル淳風のある寝屋川市東部の近隣圏域に有料老人ホームやサ高住の新設が著しく、それらの施設への転居が挙げられる。
- ・また、入院者の年間累計が 36 名（昨年の年間累計 22 名）となり入退居の動きが多い年度となった。

2. 訪問介護事業（介護予防・日常生活支援総合事業・障害福祉等含む）

(時間/月平均)	計画	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
		実績	実績	実績	実績
稼働率	1000 : 00	95.5%	94.4%	89.3%	88.0%
提供時間		995 : 58	994 : 03	893 : 01	880 : 25
	今年度累計			前年度累計	
(時間/月平均)	計画	実績		計画	実績
提供時間	1000 : 00	940 : 52		1000 : 00	882 : 28

- ・今年度の新規ご利用者は 53 名（要介護 27 名、要支援 26 名）、サービス終了者は 42 名（要介護 27 名、要支援 15 名）となり、ケアハウス入居者の退居や入院が影響し月平均稼働時間 940 : 52 に留まり、目標の 1000 時間を達成することが出来なかった。
- ・下期に正職員（常勤ヘルパー）が 1 名退職し稼働時間に大きな影響が出たが、年度内で登録ヘルパーより正職員への登用が叶い、徐々に回復傾向にある。
- ・業務簡素化及び次世代の体制を見据えた体系化を目的に、介護ソフトと連動した記録システム（ケアパレット）を導入にも慣れ、実績作業などの簡素化が進み、サ責の稼働時間が増加した。

3. 通所介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	85%	81.8%	85%	98.2%	85%	93.3%	85%	92.2%
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	85%		91.3%		75%		75.2%	

- ・今年度の累計実利用者数は349名となり、前年度対比114.1%（前年度306名）、延べ利用者数は2813名となり、前年度対比122.2%（前年度2303名）し、前々年度の令和5年度より944名増加と好調で、目標としていた稼働率（85%）を達成した。
- ・主な要因としては、既存ケアマネとの密な関係構築が挙げられる。昨年度に好評であった創作活動を中心とした取り組みも継続しつつ、新しいレクの積極的な取り入れなど、ご利用者の参加意欲が拡大したことが考えられる。
- ・しかし、年度内で生活相談員や介護職員の退職などが相次ぎ、人員確保が困難を極めたが、業務の工夫などを行うことで体制を維持することはできた。令和8年度に入り新規入職の目途が立ち始め、サービス供給体制が正常化。今後は、保留となっていた特定曜日のキャンセル待ち需要を優先的に取り込み、早期のフル稼働および収益最大化を推進する。

4. 居宅介護支援事業所

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件数/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	90件	73.3件	90件	87.7件	120件	96.6件	120件	106.7件
予防件数	21.6件	24.5件	21.6件	50.7件	48件	53.6件	48件	56.0件
	今年度累計				前年度累計			
(件数/月平均)	計画		実績		計画		実績	
要介護件数	105件		90.4件		79.5件		51.8件	
予防件数	24件		34.6件		16件		24.5件	

- ・長らく懸案であった人員不足を解消し、令和7年度は介護支援専門員4名体制による安定した運営を実現した。これにより、質の高いケアマネジメント体制が評価される「特定事業所加算Ⅱ」の算定要件を充足し、収益構造の適正化を達成している。
- ・ケアマネジャー1名あたりの担当件数には依然として余力があることから、稼働率の向上が喫緊の課題となっている。
- ・新規利用者の確保に向けた意識改革の一環として、対象エリアを隣接する四條畷市へ拡大、件数としては徐々に増加傾向にある。
- ・拠点内における各事業所の役割分担（棲み分け）の明確化、および法人内サービスへの集中減算リスクや占有率の推移を意識した戦略的なケアプラン作成が求められている。

5. 地域包括支援センター

(件数/月平均)		計画	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
			実績	実績	実績	実績
直轄 プラン 件数	3 職種	40 件	39.0 件	39.3 件	39.7 件	41.0 件
	プランナー	65 件	62.3 件	63.3 件	64.3 件	57.7 件
委託プラン件数		225 件	206.0 件	203.7 件	200.3 件	198.7 件
		今年度累計			前年度累計	
(件数/月平均)		計画	実績	計画	実績	
直轄 プラン 件数	3 職種	40 件	38.9 件	40 件	28.6 件	
	プランナー	65 件	61.2 件	65 件	64.1 件	
委託プラン件数		225 件	202.2 件	194.0 件	194.0 件	

- ・年度目標として掲げた月次収益 2,600,000 円を安定的に達成し、前年度水準を維持・継続した。また、3 職種の欠員を出すことなく、安定した人員体制を堅持し、持続可能な運営基盤を構築した。
- ・地域包括支援センター圏域内における地域活動を質・量ともに拡充。健康増進を軸とした「いつまでもお元気で教室」の定例開催や、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発を通じ、地域住民の潜在的・顕在的ニーズに対し、適時適切な介入を実現した。
- ・認知症啓発活動の一環として、学校教育現場（小中学校）へのアウトリーチ活動を新規に展開。自発的なプレゼンテーションにより、年度内 2 校での「認知症サポーター養成講座」開催が実現した。市内小売業等への直接的な働きかけにより、令和 8 年度に向けた複数の開催予約を獲得。今後は、単なる講座提供に留まらず、受講後の住民が新たな社会参画へと繋がる「活動の場の創出」を主眼に置いた仕組みづくりを推進する。

令和7年度 事業報告

淳 風 と よ な か 拠 点 区 分

- ・ 特別養護老人ホーム淳風とよなか
- ・ 淳風とよなかショートステイ
- ・ 淳風とよなかデイサービスセンター
- ・ 淳 風 と よ な か 診 療 所
- ・ 福祉用具淳風きたじょう（福祉用具貸与）
- ・ 福祉用具淳風きたじょう（特定福祉用具販売）
- ・ 島 江 シ ル バ ー ハ ウ ジ ン グ
- ・ 生活困難者に対する相談支援事業淳風とよなか

理事会で承認されました、令和7年度の事業計画において、下記の5点を全体の目標として各事業運営いたしましたので報告申し上げます。

I. 令和7年度淳風とよなかI全体の目標

1、安定した収入による事業の運営

- ・ 特養においては入院による空床をショートステイの転用利用を活用することで稼働率は概ね安定した。
- ・ 在宅サービスにおいて、新規契約はあるものの、契約解除も多く、目標を下回る状況がある。特定の事業所からの紹介に依存せず、新規の依頼元を開拓する営業活動を行っていく。また、福祉用具部門では、地域住民への周知と販路拡大を目的とした展示会の実施を次年度に予定している。

2、視野を広げ自信に繋げる職場づくり

- ・ 毎月の職員会議で実施される研修や事例発表会を通じ、各事業所の業務内容が可視化された。これにより、事業所間の相互理解が深まり、施設全体の動きを把握できるようになった。

3、本来の専門業務に専念できる環境整備

- ・ ケアプランデータ連携システムを導入。一部の外部事業所との迅速な情報共有とペーパーレス化を実現できた。
- ・ 地域全体での普及状況により効率化の幅に課題は残るが、次年度の介護ソフトの見直しを機に、事務負担を抜本的に軽減できるシステム選定を進める。

4、人財育成の強化

- ・ 「スキルアップ研修」の継続実施により、部署を越えたコミュニケーションが活性化し、相互理解の促進という好影響が現場に表れ始めている。
- ・ 専門職の育成に関しては、事業所や職種によって育成マニュアルの運用にばらつきが見られるため、今後はこれらを体系的に整理・標準化していく。

5、地域と連携した災害時対応力の向上と改修・設備投資

- ・ BCP（事業継続計画）に基づく訓練や、市営住宅との非常ベル連動確認などの具体的な連携を行った。
- ・ 次年度は地域住民との共同訓練も視野に入れ、地域防災拠点の役割を強化する。

- ・消火栓バルブの更新など、老朽化した箇所の改修投資を順次進め、安全・安心な環境を維持している。

Ⅱ. 各事業の報告

1、淳風とよなかⅠ

(1) 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率(特養)	97.6	95.6	97.6	93.1	97.6	96.2	97.6	95.7
稼働率(S S)	99.0	106.4	99.0	108.5	99.0	101.9	99.0	103.2
合算	97.6	96.6	97.6	94.6	97.6	96.7	97.6	96.4
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率(特養)	97.6		95.1		97.6		96.0	
稼働率(S S)	99.0		105.0		99.0		95.2	
合算	97.6		96.1		97.6		95.9	

① 特別養護老人ホーム

- ・平均介護度 3.99 (3月末時点)
平均入院者数 2.65 名/日、退居者数 19 名。
- ・特養の入院による空床をショートステイの転用利用で補うことで、大幅な稼働低下を回避した。
- ・シーツ交換業務を庶務職員へ移行するなど、専門職が本来の介護業務に専念できる環境整備を進めている。
- ・次年度は、脱水や骨折による入院予防の徹底を行い稼働率安定に努める。

② 短期入所生活介護

- ・特養入院者の転用利用で稼働率が向上した。現在はリピーターによる満床状態が続いており、受け入れ枠拡大に向けた業務整理を行っていく。

(2) 通所介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	75.0	77.2	75.0	80.0	77.5	86.8	77.5	80.6
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	76.5		81.2		72.5		68.2	

- ・体験 34 名、新規 26 名、契約解除 23 名など、計画的な取り組みが実を結び、目標値を達成した。
- ・利用者からの紹介や、地域での口コミにより新規契約に繋がるケースが増加している。また、つながりのある事業所との密な連携や要望の聞き取りにより、信頼関係を構築し、コンスタントな問い合わせ獲得に繋げている。
- ・口腔機能訓練加算において他職種と連携して取り組めており、嚥下機能の見直しなどサービスの充実を図っている。

(3) 診療所

- ・看護計画（処置・褥瘡管理等）において写真を有効活用し、メンバー間での情報共有とアセスメントの徹底を継続している。
- ・介護職員の医療的ケア教員資格の取得を推進。今後は介護職員への指導を通じて、施設全体での医療的ケア体制を強化し、重度者ケアの充実を目指す。
- ・施設内の事例発表会への参加を通じ、職員のモチベーション向上や刺激に繋がっている。今後はプレ発表の実施など、他の医務室職員を巻き込む工夫を検討する。

(4) 福祉用具貸与・販売

	第1四半期		第2四半期	
累計売上（円）	計画	実績	計画	実績
貸与	14,100,000	12,543,000	14,250,000	12,364,000
特定販売	750,000	437,000	750,000	325,000
収益	1,050,000	1,378,000	1,050,000	1,180,000
合計	15,900,000	14,359,000	16,050,000	13,870,000
	第3四半期		第4四半期	
累計売上（円）	計画	実績	計画	実績
貸与	14,400,000	12,481,000	14,550,000	12,516,000
特定販売	900,000	466,000	900,000	603,000
収益	1,200,000	2,646,000	1,200,000	1,433,000
合計	16,500,000	15,594,000	16,650,000	14,552,000
	今年度		前年度	
総売上/累計（円）	計画	実績	計画	実績
合計	65,100,000	58,377,000	69,300,000	65,667,000

- ・新規利用者の獲得は好調に推移し、年間目標の120件を上回る136件を達成した。
- ・一方で、死亡や入院に伴う解約が新規獲得数を上回る月があり、利用者純増・収益目標の達成を阻む要因となった。
- ・特定の事業所への依存脱却に向けた新規訪問営業を継続しつつ、今後は福祉用具展示会の開催を通じた地域への周知とさらなる販路拡大を推進する。

(5) シルバーハウジング

- ・ご入居者も徐々に高齢化が進んでおり、体調不良での入院や介護サービスにつながるケースが増えている。安否確認の継続を徹底している。

(6) 生活困窮者レスキュー事業

- ・大阪しあわせネットワークの実績はなし。
- ・地道な地域活動（子ども食堂、多世代食堂、ふれあい市、地域教室等）を継続的な取り組むことで、「顔の見える関係」を築き、地域住民にとって暮らしの中の不安や小さな困りごとを気軽に相談できる安心に繋げたい。

III. 総務課

1、労務・経理

- ・新規のシステム操作を拠点で開始。スキル取得に努めており、次期も継続していく。

2、庶務

- ・BCP に基づく防災訓練や地域連携を強化。シルバー人材の活用により、施設管理や安全運転業務の継続を図った。

IV. 栄養室

- ・給食委託契約が食単価制から管理費制へと移行したことで収支は減少したが、プラスで推移している。

V. 主な設備整備

- | | |
|------------------------------------|--------|
| ・特養Ⅰ（デイ）ハイエース車両購入（リース 72 ヵ月） | 400 万円 |
| ・特養Ⅰ 厨房エアコン増設工事 | 98 万円 |
| ・福祉用具 介護ソフト導入（補助金対象案件 補助上限 100 万円） | 154 万円 |

令和7年度 事業報告

淳風とよなかⅡ拠点区分

- ・地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか
- ・ユニット型淳風とよなかショートステイ
- ・居宅介護支援事業所淳風とよなか
- ・豊中市庄内地域包括支援センター
- ・訪問介護サービス淳風とよなか
- ・訪問介護サービス（障害福祉）淳風とよなか
- ・小規模多機能ホーム淳風ふたば

理事会で承認されました、令和7年度の事業計画において、下記の5点を全体の目標として各事業運営いたしましたので報告申し上げます。

I. 令和7年度淳風とよなかⅡ全体の目標

1、安定した収入による事業の運営

- ・特養においては入院による空床をショートステイの転用利用を活用することで稼働率は概ね安定した。
- ・在宅サービスにおいて、新規契約はあるものの、契約解除も多く、目標を下回る状況がある。特定の事業所からの紹介に依存せず、新規の依頼元を開拓する営業活動を行っていく。

2、視野を広げ自信に繋げる職場づくり

- ・毎月の職員会議で実施される研修や事例発表会を通じ、各事業所の業務内容が可視化された。これにより、事業所間の相互理解が深まり、施設全体の動きを把握できるようになった。

3、本来の専門業務に専念できる環境整備

- ・ケアプランデータ連携システムを導入。一部の外部事業所との迅速な情報共有とペーパーレス化を実現できた。
- ・地域全体での普及状況により効率化の幅に課題は残るが、次年度の介護ソフトの見直しを機に、事務負担を抜本的に軽減できるシステム選定を進める。

4、人財育成の強化

- ・「スキルアップ研修」の継続実施により、部署を越えたコミュニケーションが活性化し、相互理解の促進という好影響が現場に表れ始めている。
- ・専門職の育成に関しては、事業所や職種によって育成マニュアルの運用にばらつきが見られるため、今後はこれらを体系的に整理・標準化していく。

5、地域と連携した災害時対応力の向上と改修・設備投資

- ・BCP（事業継続計画）に基づく訓練や、市営住宅との非常ベル連動確認などの具体的な連携を行った。
- ・次年度は地域住民との共同訓練も視野に入れ、地域防災拠点の役割を強化する。
- ・消火栓バルブの更新など、老朽化した箇所の改修投資を順次進め、安全・安心

な環境を維持している。

Ⅱ. 各事業の報告

1、淳風とよなかⅡ

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム・ユニット型短期入所生活介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率(特養)	98.0	96.6	98.0	96.9	98.0	99.7	98.0	98.3
稼働率(SS)	99.0	95.7	99.0	91.5	99.0	92.1	99.0	94.0
合算	98.3	96.2	98.3	94.2	98.3	95.9	98.3	96.6
	今年度				前年度			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率(特養)	98.0		97.9		98.0		98.2	
稼働率(SS)	99.0		93.3		99.0		97.7	
合算	98.3		96.6		98.3		97.8	

① 地域密着型特別養護老人ホーム

- ・平均介護度：4.06（3月末時点）
平均入院者数0.5名/日、退居者数5名
- ・特養単体の稼働率は安定しており、退去が発生した際もショートステイ利用者を優先的に入居へ切り替えることで、空床期間を最小限に抑えた。
- ・ユニットケアの追求を継続しており、おやつのユニット管理など、個別性を重視したサービスを提供している。

② ユニット型短期入所生活介護

- ・ショートステイにおいては、ロングステイ利用者が決まるまでの期間をスポット利用で埋めるなど、居宅介護支援事業所との密な連携による調整を行った。

(2) 訪問介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(時間/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
提供時間数	1,400	1,303	1,450	1,329	1,500	1,315	1,500	1,239
	今年度				前年度			
(時間/累計)	計画		実績		計画		実績	
提供時間数	17,550		15,558		17,750		15,472	

- ・サービス提供責任者の稼働率は30%近くを維持しているが、ヘルパーの稼働時間に制限があり、新規の受け入れが困難な状況が続いている。
- ・自費サービス実績が前年度に比べ半減している。新規契約へのきっかけとして有効に活用できるよう、サービスの周知や運用方法の整理をしていく。

(3) 小規模多機能居宅介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	77.0	63.2	81.6	70.1	86.2	73.6	86.3	72.4
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	82.8		69.8		83.6		69.0	

- ・居宅介護支援事業所への営業に加え、病院等への新規開拓を継続し、相談件数は増加傾向にある。
- ・小規模多機能の特性上、要介護者の利用に至るまでのハードルが高い。週3日～4日お泊りを定期的実施しているため、緊急ショートを受け入れから居宅ケアマネとの関係性を構築していく。

(4) 居宅介護支援

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	156.0	152.7	166.6	152.7	165.0	152.0	165.0	155.0
予防件数	34.0	44.7	34.0	39.3	28.0	34.0	28.0	37.3
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
要介護件数	163.1		153.0		157.0		155.0	
予防件数	34.0		38.9		30.0		29.6	

- ・今年度入職者は3名、うち2名退職。来期は5名でのスタートとなる。退職に伴う件数の影響はなし。
- ・4月より特定事業所加算Ⅱ→Ⅰに変更。算定要件をそれぞれが理解し、維持できるようにする。

(5) 地域包括支援センター

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
直轄プラン件数	162	135	137	141	140	130.3	140	124
委託プラン件数	650	683	650	665	650	620	650	616
	今年度累計				前年度累計			
(件/月平均)	計画		実績		計画		実績	
直轄プラン件数	136		124		137		137	
委託プラン件数	650		618		670		661	

- ・「孤立させない地域づくり」を進めるために、1月にスマホ体験教室を開催し、スマホを通じて人とのつながりを保つことを推奨した。また3月には、「一人暮らしに役立つ制度講座」を開催し、介護予防や介護保険、福祉制度、エンディングノートを紹介した。
- ・防災については1月17日に開催された庄内西校区一斉防災訓練に参加し、地域の方々と一緒に避難所開設や安否確認の手順について学んだ。

令和7年度 事業報告

淳 風 お お さ か 拠 点 区 分

- ・ 特別養護老人ホーム淳風おおさか
- ・ 淳風おおさかショートステイ
- ・ 淳風おおさかデイサービスセンター
- ・ 居宅介護支援事業所淳風おおさか
- ・ 淳風おおさか診療所
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業淳風おおさか

理事会で承認されました、令和7年度の事業計画において、下記の5点を全体の目標として各事業運営いたしましたので報告申し上げます。

1. 収支管理を意識した運営

- ・各事業における月次ミーティングにて収支状況の把握と、備品購入や採用に係る費用対効果の確認をする意識が定着した。
- ・予算の精度に課題があり、特養の稼働率が大幅に未達であったにもかかわらず、予算達成となる状況が発生してしまった。次年度予算では修正をしている。

2. 管理者の育成

- ・役職および職種の業務整理を行い、担当業務と責任範囲を明確化したことで、管理者が主体的に改善策を検討・実行できる体制が強化できた。
- ・施設サービス課は、改善スピードの向上と管轄範囲の見直しにより、来年度よりセクション単位での運営へ移行することを決定した。

3. 専門職としてのスキルアップ、やりがいや成長意識の向上

- ・チーム制での外部研修は、共通課題の共有が進み、職員の関心と学習意欲向上に一定の成果が得られた。一方で、人員調整や時間的制約が課題となっているため、今後は出張研修等の導入を含めた実施方法の見直しが必要である。

4. 地域活動と災害対策

- ・地域ニーズを踏まえて終活をテーマとした地域交流会を企画し25名が参加された。職員とのワークでは、活発な意見交換が行われ、施設紹介の良い機会となった。
- ・災害対策では研修参加をきっかけに、北区保健福祉センターより、令和8年度の出張研修の受け入れ協力要請があり、連携強化につながる機会として、調整を進める。

5. 採用強化

- ・採用が難航していた介護職員については、各種採用手法により年度内に必要人員を確保することができた。人員不足の長期化や、採用後のミスマッチによる早期離職

の課題もみられた為、マッチングの精度向上が今後の課題である。

I. 各事業の第3四半期報告

1. 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率(特養)	96.8	95.5	96.8	94.8	96.8	93.1	96.8	93.6
稼働率(SS)	97.0	111.3	99.0	119.1	97.0	112.2	97.0	121.8
合算	96.9	96.4	96.9	97.0	96.9	94.8	96.8	96.2
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率(特養)	96.8		94.3		97.7		95.0	
稼働率(SS)	97.0		116.1		91.2		98.1	
合算	96.9		96.1		97.2		95.3	

①特別養護老人ホーム

- ・平均介護度 3.86 (前年 3.95) ・平均入院数 2.62 名/日 (前年 2.61)
- ・退居者数 26 名 (内看取り介護 15 名)
- ・年間稼働率特養 94.3%、ショート 116.1%、合算 96.1%
- ・稼働率はロングステイニーズへの対応を調整した影響により、特養は低下し、ショートステイは高い稼働率となった。合算稼働率は入院日数の影響が大きく、目標を大きく下回る状況となった。
- ・年間新規申込者は 59 件 YouTube やみんなの介護を活用にしたが目標には届かなかった。みんなの介護は一定の閲覧はあったが費用対効果の観点から掲載を終了し、入居には至っていない。今後は営業、広報活動の強化が必要である。
- ・家族カンファレンスでは、ACP (アドバンス・ケア・プランニング) に基づき、医師を含む多職種で今後の支援方針を話し合う仕組みが定着している。特に医療ニーズが高い方の退院時にも実施する機会が増えている。

②短期入所生活介護

- ・下期より、入院発生時の空室確認ルールを見直し、転用促進を図った。入院先への定期連絡やご家族への確認、予定更新等の運用ルールを整理・明確化し、相談室全体でベッドコントロールを実施した。
- ・緊急時の受け入れ促進を図る為、手ぶらで利用ができるように、必要物品の準備を進め、紹介元のケアマネジャーの事務負担軽減として関係書類の簡素化を行った。

2. 通所介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	71.0	69.8	71.0	75.9	84.2	78.9	84.2	74.0
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	77.5		74.6		63.0		59.6	

- ・一日平均登録数 34.0 名（前年 28.0 名）
- ・一日平均利用数 28.4 名（前年 23.0 名）
- ・体験利用者数 56 名（前年 65 名）・新規利用 49 名（前年 52 名）
- ・契約解除 45 名（前年 35 名）
- ・稼働率は、前年増となったが、入院キャンセルや施設入所による契約解除の影響で目標達成には至らず、さらなる実利用者の確保が課題となった。
- ・機能訓練メニューの見直しやワクレク（ワークレクリエーション）の導入により、ご利用者の楽しみや役割づくりにつながった。機能訓練が行えるデイサービスとしての認知も広がり、問い合わせの増加にもつながっている。
- ・個別ケアの充実については毎月のケアミーティングを通じて、観察力や見守り意識、提案力が向上し、介護職員の主体性の向上がみられている。
- ・接遇面では、ボランティアや実習生等との関わりを通じて、言葉遣いへの意識は高まりつつある。日常業務中にため口や友達言葉が出てしまう場面が見受けられたため、引き続き、接遇意識の定着を図っていく。

3. 居宅介護支援事業所

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	120.0	136.0	135.0	139.7	135.0	138.3	135.0	130.0
予防件数	86.7	81.0	86	81.0	70	81.6	70	76.3
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
要介護件数	131.2		136.0		115.0		111.2	
予防件数	78.1		80.7		73.2		76.1	

- ・契約数は大淀地域包括支援センターから継続的な紹介があったことと、区分変更を適切なタイミングで実施したことにより、目標を達成した。
- ・入院をきっかけとした契約解除を防止するため、入院中の区分変更申請、カンファレンスへの出席等シャドーワークの必要性が高まっており、負担増が課題となっている。
- ・地域活動では、カフェや食事サービスへの継続的な参加を通じて関係性の強化を図

られ、契約に至る前の事前相談の機会にもつながっている。

4. 診療所

- ・医療保険請求の担当者が変更となったが、業務の引継ぎは円滑に行われており、日常のルーティン業務やワクチン接種等の季節業務も問題なく完了した。

5. 生活困窮に対する相談支援事業

- ・大阪しあわせネットワークでは、2 件の支援を実施した。市営住宅入居に伴う敷金抛出と、年金受給開始までの空白期間を支える約 2 週間の緊急食糧支援を行い、制度の狭間にある世帯の支援を行った。

II. 設備関係

- ・業務用冷蔵庫 57 万円
- ・ロスナイ換気扇 17 万円
- ・スチームコンベクション 33 万円
- ・外壁工事 3,080 万円(予定)

令和7年度 第4四半期事業報告

淳 風 な み よ け 拠 点 区 分

- ・ ケ ア ハ ウ ス な み よ け
- ・ 市岡東在宅サービスステーションさくら
- ・ ケアプランセンター波除さくら
- ・ ホームヘルプセンターさくら
- ・ 市岡東地域総合相談窓口
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業なみよけ

理事会で承認されました、令和7年度の事業計画において下記3点を全体目標として各事業を運営しましたので報告申し上げます。

I. 令和7年度淳風なみよけの全体目標

(1) 互いに支え合える地域との関係性構築

- ・ 多職種連携会議等へ参加し共通の地域課題で関係を深めた。また地域行事の運営スタッフとして参加、住民と同じ目線で接し、相談しやすい関係づくりに努めた。

(2) 稼働率安定のための取り組み

- ・ デイサービス、訪問介護がそれぞれの特色を意識した新たなチラシを作成。法人パンフレットとともに、事業所特色のPRに努めた。
- ・ デイサービスの稼働率低下について居宅支援事業所からの意見を聞き取り、改善するための土台づくりを行った。
- ・ 訪問介護の新規獲得、実績時間向上の為に日曜日のサービス提供について協議を開始した。

(3) 人材の確保と育成

- ・ 10月にケアハウス生活相談員（正職員）が入職。年度末で介護職員の退職があり、新年度から新体制となる。
- ・ 今年度、介護支援専門員資格取得者が内部異動、居宅支援事業所職員の増員が図れた。
- ・ スキルアップを希望する職員のバックアップする体制構築を引き続き推進していく。

Ⅱ. 各事業所の報告

(1) ケアハウス

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率 (%)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	84.0%
入居者数 (人)	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	25.3
	今年度累計				前年度累計			
(月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率 (%)	90%		89.0%		90%		90%	
入居者数 (人)	27.0		26.6		27.0		27.0	

- ・個室 24 部屋は満室継続。二人部屋 3 部屋が全て単身入居として継続しており、収益面での大きな課題が残る。夫婦世帯の待機者が出ているが空きがない為入居に進められない。
- ・待機者確保では居住支援法人へのメール営業を行い、居宅介護支援事業所や包括、医療機関等には訪問営業を行った。加えて、オンライン(HP、ポータルサイト、SNS)とオフライン(パンフレット、チラシ、訪問営業)を組み合わせた集客戦略により相談増加傾向で待機者がいる状態。
- ・入居者同士の交流を目的とし、季節感や趣味の楽しみを感じていただく企画を増やしホームページでの外部への情報発信などから集客効果に繋げていく。

(2) 通所介護事業所

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	75.0%	61.5%	75.0%	59.3%	75.0%	56.3%	75.0%	54.3%
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	75%		61.3%		80%		66.8%	

- ・移乗機器 (Hug) の使用により、介護職員の腰痛軽減、ご利用者側からも安心感が得られた。まだ一部の方にしかご利用できていないためさらなる福祉用具の活用・技術面の向上が必要である。
- ・口腔体操を継続、定着させていき、次年度上期に加算算定を目指す。

(3) 居宅介護支援事業所

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護	228.0	222.0	228.0	213.6	228.0	222.3	228.0	204.0
予防	90.0	79.0	90.0	80.0	90.0	82.3	90.0	81.4
	今年度累計				前年度累計			
(人)	計画		実績		計画		実績	
要介護	2736		2537		2520		2420	
予防	1080		967		1008		850	

- ・計画的な人員採用と相互フォロー体制による組織の安定化 将来の定年退職を見据えた新任ケアマネの採用と育成に注力し、ベテランによるスーパービジョンや相互フォローの意識が芽生えたことで、事業所全体の安定的な運営基盤を構築できた。
- ・業務平準化と事例共有による「長く働ける環境」の整備 経験年数を問わず相談やプラン作成の好事例を共有できる環境を整えるとともに、休職者発生時の担当調整や業務バランスの最適化を図ることで、職員の負担軽減と安心感に繋がった。
- ・継続的な研修と書類チェックによる専門性の向上と基準遵守 外部研修の活用やファイル相互チェックを徹底したことで、最新の制度・資源情報の習得やアセスメント能力の底上げが図られ、運営基準を遵守した質の高いケアマネジメント体制構築に取り組んだ。

(4) 訪問介護事業所

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
提供時間(時間)	900:00	934:25	900:00	846:00	900:00	822:10	900:00	768:30
実利用者数(人)	110	110.3	150	99.0	150	103.7	150	100.7
	今年度累計				前年度累計			
(月平均)	計画		実績		計画		実績	
提供時間(時間)	900:00		900:00		12000:00		10195:00	
実利用者数(人)	1320		1241		1320		1220	

- ・同行訪問と事例共有による現場対応力の底上げ 個別面談や同行を通じたきめ細かな現場支援により、職員の不安解消と判断力の向上を図り、サービス全体の質と安心感を高めることができた。
- ・多職種連携の強化による重症化予防と迅速な対応 利用者の微細な変化をケアマネジャー等と即時に共有する体制を構築し、迅速なサービス見直しを行うことで、体調悪化の未然防止と信頼関係の強化に取り組んだ。
- ・職場環境の改善と定着率向上による良質な支援の維持 柔軟な調整や意見交換がしやすい環境を整えることで、職員の意欲と定着率を向上させたが、支援のバラつき等の課題解決に向け次年度も本計画を継続する。

(5) 地域総合相談窓口

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(件/合計)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
実件数	30	37	30	21	30	27	30	57
延べ件数	150	137	150	65	150	88	150	246
	今年度累計				前年度累計			
(件/月平均)	計画		実績		計画		実績	
実件数	120		132		120		148	
延べ件数	600		536		600		570	

- ・多職種・地域住民とのネットワーク構築 地域福祉計画や会議への参画を通じ、社協や民生委員らと「顔の見える関係」を築き、強固な連携体制を確立した。
- ・「まちの保健室」や地域行事による信頼醸成 スーパーでの出張相談や防災イベントの運営を通じ、住民にとって専門職が身近で相談しやすい環境を整えた。
- ・情報共有の活性化と継続支援の実現 地域支援者との日常的な情報共有が定着し、介入終了後のケースについても再連携できる切れ目のない支援体制を実現した。

令和7年度の共通重点的活動と成果

1. 安心・安全な保育環境づくりについて

年間計画に基づき、月1回の防災訓練（火災・地震・津波・不審者等）や救命講習等を行い非常時に備えた。また、食事中、睡眠時、水遊び中など事故が起こりやすい場面については特に留意し対応するとともに、ヒヤリハットやケガ報告等については必要に応じて情報共有し、より安全・安心できる環境づくりに努めた。

2. 職員の専門的知識・技能の向上と育成について

- (1) 看護や栄養などの専門的知識をもった職員の存在が園に厚みを持たせ、多角的に支援を行う事が出来た。又、それぞれの技能の向上にもなりお互いが良い刺激を受けて業務に役立てることが出来ている。支援の必要な子どもやご家庭については、状態により、こども相談センターや区役所と、公的専門機関との連携することが出来た。
- (2) 職員育成とキャリアアップを目的にキャリアパス制度を導入している。職務要件の明記・自己評価・他者による人事評価、職員育成シートによる自己の評価と施設長の自己評価、セルフチェックシートによる本人や周囲のメンタルチェック（セクハラ・パワハラ防止）や、折に触れ児童への適切な対応（虐待防止）の確認を行った。
- (3) 上長との面談を定期的に行い、職員一人ひとりとのコミュニケーションを図るとともに、自身や環境の振り返りを行うセルフチェックについては、今年度は全員が担当統括との面談を行った。面談のあり方など、色々と工夫しながら、今後のさらなる職場環境の適正化に活かしていきたい
- (4) 外部研修については、処遇改善加算Ⅱ受給要件となるため、オンラインも併せて、キャリアアップ研修への参加が増えた。
また福西社労士のハラスメント WEB 研修を担当者だけでなく、可能な限り全職員が受けられるようにした。

<年間研修実績>

	波除学園	安治川保育園	田中保育所	西保育園
オンライン研修	キャリアアップ 施設長・リスク管理 12回	キャリアアップ アレルギー・特別支援 10回	キャリアアップ 8回	キャリアアップ 施設長・防災 7回
外部研修	キャリアアップ 新採・人権保育・食育 特別支援・子育て支援 保育実践・テーマ別 看護師 26回	キャリアアップ・ 施設長・新採・看護師・ 特別支援・食育・人権保 育・リスク管理・テーマ 別・和太鼓 20回	運動会・食育・表現・ 特別支援・施設長・ 主任・リスク管理 15回	キャリアアップ・施設 長・主任・食育推進ネッ トワーク 10回

令和7年度 事業報告

認定こども園 波除学園拠点区分

・ 認 定 こ ど も 園 波 除 学 園

1. 令和7年度の重点的活動と成果

- (1) 色々な行事を進めていく中で、行き詰まる職員もいたが助言やアドバイスをを行いながら一緒に考えて進めることで、無事に終える事が出来た。また、行事ごとに振り返りを行い良かった点や反省点を出し合うことで、今後に繋げられるように取り組むことが出来た。
日々の保育の中では、子どもの成長を感じるとともに、職員の成長も感じることが出来た。毎月クラスミーティングを行うことで、職員が日々の保育の中で悩んでいることを話し合う良い機会になった。
- (2) 保護者対応では、園のルールを伝え守ってもらうことは大切であるが、うまく伝わらない場面もあった。今後は、一人ひとりの園児や保護者に寄り添いながら、伝え方や会話のスキルの向上に努めていきたい。
- (3) 毎月避難訓練を行うことで、園児や職員の災害への意識や危機感が薄れていたため、数回抜き打で行うことで、放送を聞いて避難方法や避難場所を想定することで災害が起きた時に何をすべきなのかを考える良い機会となった。
- (4) 一時保育は今年度利用者900人の目標を掲げていたが、581人と目標を達成することが出来なかった。1日の利用人数を増やし休園日を減らすなど工夫はしたものの当日体調不良などのキャンセルが多かったのが要因となった。

2. 施設運営について

令和7年度分園なみびよ園児1名からスタートしたが4月末で退園、一時保育事業を開始しながら運営を行っていたが、8月末を持って閉園となった。

令和7年度 事業報告

安治川保育園拠点区分

・ 安 治 川 保 育 園

1. 令和7年度の重点的活動と成果

- (1) 今年度も各学年、園全体で見通しを持ち、前向きに日々の保育、大きな行事を進めることができ、子どもたちだけでなく、保護者の方や職員にとっても満足感、達成感が得られる良い経験となった。
また、各学年、支援が必要な子どもたちが増え、加配保育士による個別対応や支援を充実して行うことが出来た。また、クラス全体で多様な存在を自然に受け入れ互いに助け合うなど共に成長することが出来た。
- (2) 今年度は、新たな防災対策として、「保護者用名札」を導入し全世帯に配布した。
送迎時に保護者の方に着用をお願いすることで関係者以外の立ち入りを防ぐなど防犯上抑止力となった。また保護者の方のご協力もあり、送迎時の名札着用が定着している。
- (3) 11月末ごろから年末にかけてインフルエンザが大流行し、園児60名以上、保育士も9名が罹患した。発表会の時期と重なり、やむを得ず欠席となってしまった園児もいた。

2. 施設運営について

園庭開放等では、担当者が中心となり、保育園ならではの遊びを取り入れるなどし内容をより充実させることが出来た。
開催日によっては参加人数に差があるものの年間を通してリピーターの方も増えてきた。
また、見学者にも丁寧な対応を心掛けた事で令和8年度の入園希望者数にもつながったように感じる。

3. その他

5月に2歳児男児が発熱し、その後、熱性けいれんが起きたため緊急搬送を行った。
男児は、すぐに回復したが、職員にとってはとっさの判断が求められる貴重な経験となった。
今後も職員間で連携し、緊急時にスムーズな対応ができるようシミュレーション研修を継続して行っていきたい。

令和7年度 事業報告

田中保育所拠点区分

・大阪市立田中保育所

1. 令和7年度の重点的活動と成果

- (1) 長年、運動会で年長児は竹馬を披露していたが、保護者の理解の上で、10月の保育参観に行った。運動会后子どもたち自ら竹馬に乗る姿が見られた。運動会の時よりも子どもたちの楽しそうな表情に、保護者の方もとても喜ばれていた。その反面、職員の中には、運動会で竹馬以外の種目と保育参観の竹馬の内容を考えないといけないので、年長児の担任の負担になるのではという意見もあった。
- (2) 所外保育については、バスを使用することで、吹田市にあるニフレルや長居公園に出掛け良い経験が出来た。
- (3) 職員が揃っている時をうまく活用し、正規職員がクラスを抜けて仕事をする工夫をした。その際クラスの見守りの中心になってもらうように、非常勤職員に理解の上で取り組むことが出来た。
- (4) 年長児とその保護者のみだったが、関西万博で大人気のイタリア館とオンラインで繋ぐという貴重な経験が出来た。

2. 施設運営について

面談やストレスチェックなど、職員の意見には耳を傾け、気持ち良く仕事出来るよう努力はしているつもりだが、7年度末で4名の退職者があった。

令和5年度以降、厨房内の栄養士が長続きしない状態が続いている。本来、栄養士の仕事である食育など、保育士が主となり進めていく。

令和7年度 事業報告

西保育園拠点区分

・ 西 保 育 園

1. 令和7年度の重点的活動と成果

- (1) 運動会の日程を前年度より3週間ずらしたことで、猛暑を避けて運動会に向けての取り組みを行うことができた。また、行事のための保育ではなく、日々の体幹あそび等から運動会へ繋げることで、日々の保育の積み重ねの大切さを再確認できたとともに、行事前の負担軽減に繋がった。他の行事も日々の保育からのつながりを大切にするすることで、体験に終わらず経験にできることが増え、子どもたちの育ちにも繋がった。
- (2) 補助金を活用し、3.4.5歳児クラス全児分の防災ずきんを揃えた。毎月の避難訓練では、振り返りからのアップデートを繰り返し、子どもたちが瞬時に自分の身を守る行動が出来るようになってきている。
- (3) 積極的に研修を受講し、職員のスキルアップを目指した。まだ課題は多いが、意識改革の兆しは見られる。

2. 施設運営について

- (1) 年度途中入園児を一定数確保できたことと、特別支援児童や医療ケア児童の受け入れ、日々の牛乳等を職員が買い出しに行くなど地道な経費削減に努力し、安定した施設運営が行えた。
- (2) 外壁塗装工事に引き続き、屋上防水工事を行った。経年劣化による修繕が必要な箇所が他にも多く出てきているが、職員で応急処置が出来る部分はその都度行いながら園児の安全確保に努めた。
- (3) 年度途中で産休に入った職員が2名、怪我や体調不良で長期欠勤になる職員や、子育て中の職員が多く急な欠勤が重なるなど、全職員で協力しないと保育に支障が出てしまう状況が多々あったが、正規職員だけでなく、非常勤職員や無資格保育補助職員の活躍により乗り切ることが出来た。

令和7年度 事業報告

アフタースクール KIDS 事業拠点区分

- ・ アフタースクール KIDS なみよけ
- ・ アフタースクール KIDS かわぐち

病児・病後児保育事業拠点区分

- ・ 病児・病後児保育事業ぴ〜よんルーム

地域子育て支援拠点事業拠点区分

- ・ ぴよぴよアイランド

藤白台留守家庭児童育成室拠点区分

- ・ 藤白台留守家庭児童育成室

令和7年度の重点的活動と成果

1. アフタースクールKIDS

(なみよけ) 令和7年度は1年生1名のみの入所でスタート。その後相談は何件かくるものの入所には至らず登録児童増加には繋がらなかった。途中の退所者がいなかった事はよかったが、どのようにして増やしていくのか等、今のKIDS なみよけになにが求められているのかを考えていきたい。

(かわぐち) 令和7年度は40名以上の児童が在籍してとても賑やかだった。人数が多い分、どのようにして子どもたちが意欲的に楽しめるのか考え、行事、日々の遊びの仕方を変えて取り組んだ。令和8年度の新1年生が9名入所して46名と人数が更に増えて空き待ちの児童がいる現状である。今後も安定した利用児童数を確保できるように遠足等の子どもたちが喜ぶ行事を増やしていく。

2. 病児保育室

今年度は、感染症の流行りも少なく、利用者の伸びが悪かった。コロナより在宅ワークも増え、保護者の働き方も変わりつつあるのが理由の一つであると考え。

港・西・大正区の保育園にパンフレットを配布したこともあり、少しずつだが新規利用者登録・利用も増え、利用へとつながった。

12月からは少しずつ利用率も上がってきたが、年間200名に達することができなかった。今後も地域に周知してもらい、子どもに寄り添う保育を行いながら、看護師とともに頑張っていきたい。

3. つどいの広場

子ども青少年局より委託されて10年目。今年度は西区「8所つどい連携会議」に加え、私立保育連盟のつどいの広場見学研修があり、他区とも連携することができた。今後も現場に応援を要請し、地域活動に参加し、より良い運営ができるようにしていく。

4. 藤白台育成室

- (1) 職員の入れ替わりが少なく、児童も安定して過ごすことができた。一方、途中で採用した職員でコミュニケーションが難しい職員がおり、その職員との関わりに他の職員、児童共に振り回されてしまった。
- (2) 年度途中に5クラスから6クラスへ移行することを想定していたが、基準となる225名を越えなかったため、5クラスでの運営となった。次年度は4月より6クラスでの運営となる。

5. 山二育成室

- (1) 令和7年度より6クラスとなったが、比較的落ち着いて過ごせた。各クラスとも異年齢同士でも仲良く遊ぶ姿が見られた。毎月のイベントや班活動でも協力し合い取り組む事が出来ていた。
- (2) 人事的な面においても比較的落ち着いた1年となった。
令和8年度は人材育成を強化し指導員のモチベーションアップを強化していく方針。
人員補充については指導員枠の人員補充を重点に置いて取り組む必要あり。

令和7年度

波除学園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	12	126
1歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
2歳	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	287
3歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	383
4歳	32	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	374
5歳	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
合計	145	146	145	145	145	145	148	148	148	148	148	147	1,758

なみびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	12	126
1歳	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	241
2歳	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	287
3歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	383
4歳	32	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	374
5歳	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
合計	146	146	145	145	145	145	148	148	148	148	148	147	1,759

令和6年度

波除学園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	12	126
1歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	31	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	383
4歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	361
5歳	32	32	32	32	31	31	31	31	31	31	31	31	376
合計	146	147	147	147	146	146	151	151	149	148	148	148	1,774

なみびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
2歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
3歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
4歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	17
5歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	8	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	94

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	12	126
1歳	21	21	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	257
2歳	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
3歳	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	395
4歳	32	32	32	32	32	31	33	33	31	30	30	30	378
5歳	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	400
合計	154	155	155	155	154	153	158	159	157	156	156	156	1,888

田中保育所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2歳	16	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	200
3歳	17	17	17	17	16	16	15	15	15	16	16	16	193
4歳	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
5歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合計	79	80	80	80	79	79	78	78	78	78	78	78	945

田中保育所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59
1歳	12	12	11	12	12	12	12	11	11	11	11	11	138
2歳	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	214
3歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	222
5歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
合計	91	94	93	94	94	94	93	92	92	92	92	92	1,113

令和6年度

安治川保育園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳													0
2歳	24	24	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	284
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
5歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
合計	113	113	112	112	112	112	113	113	113	113	113	113	1,352

あじびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	7	9	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	133
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳													0
3歳													0
4歳													0
5歳													0
合計	25	27	30	30	29	29	29	30	30	30	30	30	349

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	7	9	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	133
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳	24	24	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	284
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
5歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
合計	138	140	142	142	141	141	142	143	143	143	143	143	1,701

西保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
4歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
5歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
合計	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	66	66	788

令和7年度

安治川保育園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳													0
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	357
5歳	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	347
合計	112	113	113	113	113	113	113	113	113	112	112	112	1,352

あじびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	139
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳													0
3歳													0
4歳													0
5歳													0
合計	27	28	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	355

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	139
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	357
5歳	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	347
合計	139	141	143	143	143	143	143	143	143	142	142	142	1,707

西保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1歳	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	118
2歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳	11	12	12	14	14	14	14	14	14	13	13	13	158
4歳	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	13	143
5歳	13	14	14	16	16	15	15	15	15	15	15	15	178
合計	60	62	63	67	67	65	65	66	66	65	65	66	777

令和6年度

アフタースクールKIDS

[illegible]

KIDSかわぐち

[illegible]

藥白台育成室

[illegible]

病児保育室(ぴ～よん)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	10	11	13	23	4	8	8	11	28	14	38	13	181

つどいの広場(びよびよアイランド)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
子ども	113	84	106	116	92	111	101	83	105	103	117	141	1,272
大人	108	81	104	113	91	112	103	81	103	101	115	135	1,247

以二育成室

[illegible]

アフタースクールKIDS

[illegible]

KIDSかわぐち

[illegible]

空育白蠟

[illegible]

病児保育室(び〜よん)

内兄保目至(ウ・ヤ・ウ)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
利田春	4	12	30	17	24	27	20	22	19	14	5	221	
利田春	12	10	12	30	17	24	27	20	22	19	14	5	221

つづきの広場(7月7日・8日・9日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	67	96	131	133	149	200	154	160	171	184	191	201	1,837
本人	63	91	125	131	146	201	151	163	175	190	18	188	1,811

二一查

[illegible]